

京都市立病院 PFI 事業検証支援業務 委託仕様書

1 業務の目的

京都市立病院 PFI 事業の導入効果を検証し、次期運営手法の提案を目的とする。

2 契約期間

令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 12 月 28 日

3 業務の内容

(1) 事前準備

- ① PFI 事業の契約書、要求水準書、モニタリング報告書等の関連資料を発注者から収集する。
- ② 検証する項目を発注者と協議し、明確にする。

(2) 定量的効果検証

- ① 事業当初の VFM の算定結果を確認する。(VFM の再算定はしない)
- ② 業務別の委託費用（施設整備費・修繕費は除く）の当初見積と実績を比較分析する。
- ③ 病院収支を同規模病院と比較分析する。
- ④ PFI 導入のコスト削減効果を総合的に分析する。
- ⑤ 業務別の増減要因を収益に連動している業務を中心に分析する。

(3) 定性的効果検証

- ① 各業務のサービス内容をモニタリング結果から分析し、品質向上を確認する。
- ② 院内関係者、株式会社 SPC 京都へのアンケート、ヒアリングを実施し、意見を聴取する。
- ③ PFI 導入で想定した効果が得られたかを確認する。

(4) 次期運営手法の提案

- ① 第 1 期事業（ただし、PFI 事業開始から令和 5 年度まで）の評価を整理する。
- ② 次期運営手法として、PFI 継続・直営化等の案を比較検討する。
- ③ 次期事業手法提案時の留意点を整理する。

(5) 事後評価報告書の作成

(2)～(4)までの内容の取りまとめを行い、PFI 事業における事後評価等マニュアルを参照した事後評価報告書の作成を行う。

4 納期

令和6年12月28日

5 成果品

冊子製本 5部

電子データ PDFデータ